

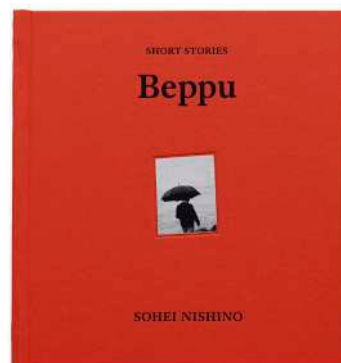
2025年4月下旬 出荷開始予定

# SHORT STORIES: Beppu

写真・文 西野壮平

仕様：A5変形（H15.8×W14.8cm）／64頁＋折り込み（2箇所）／上製本／箔、題箋貼り  
言語：日本語・英語 デザイン：山根恵美 イラスト（ポートレート）：横山寛多  
定価：本体 ¥3,800＋税 発行：Migo 発行年：2023年 ISBN：978-4-9912846-0-1

コンテンツ：イメージ45点＋折り込み2箇所、エッセイ、スケッチ



『SHORT STORIES』は写真家・西野壮平の代表作『Diorama Map』を都市ごとに、小さな本にまとめていく写真集シリーズです。『Diorama Map』とは、西野が様々な都市を訪れ、あらゆる場所を歩き、都市を観察し、撮影した膨大な写真のコンタクトシートを、キャンバスにつなぎ合わせ、自身の記憶を介して都市を再構築した巨大なジオラマです。大学在学中から制作を始め現在まで、世界のさまざまな都市の作品を制作しています。作家の記憶を元に作られた都市の標本には、それぞれの土地に共存する人間や動物、自然が平等に捉えられています。

シリーズ『SHORT STORIES』では、自身が作り出した都市をもう一度観察し、再撮影するかのように『Diorama Map』の「部分」を切り取り、記憶を辿りながら一冊にまとめています。西野がどのように土地を歩き、何を感じたのか、コラージュに含まれたユーモアなど、作品を目の前にした体験とは異なる奥行きが生まれます。小さな本に大きな作品の「部分」を収めることで、『Diorama Map』を目の前にした時に感じる、街や人々を俯瞰する感覚を保ちつつ、実際の作品のサイズに興味膨らむようなつくりになっています。

シリーズ第一弾は、2020年に撮影、制作された大分県・別府市。温泉で有名な観光地として知られるこの地で、西野は200湯もの温泉を撮影しています。温泉につかる様々な人々を捉えた作品には、今も昔も変わらぬ人々の暮らし、街の醸し出す匂いや空気が映し出されています。



西野壮平（にしのおうへい）

1982年兵庫県生まれ。大阪芸術大学写真学科を2004年に卒業、その後、静岡で制作活動を行っている。2016年個展『New Work』（サンフランシスコ近代美術館）など国内外で展示を行う。近年の展示は2021年「岡本太郎現代芸術賞」展（川崎市岡本太郎美術館）、「線をなぞるーTracing Lines」個展（キャノンギャラリーS）、2022年「潜在景色」グループ展（アーツ前橋）など。著作に『Tokyo』（アマナ、2015年）『Water Line. A Story of the Po River』（Damiani、2019年）



○ご注文はツバメ出版流通まで Fax: 03-3721-1922

Tel: 03-6715-6121 Mail: info@tsubamebook.com Url: tsubamebook.com

貴店名（番線印）	注文数	<b>SHORT STORIES: Beppu</b> 写真・文 西野壮平 ISBN：978-4-9912846-0-1 C0072 定価：本体 ¥3,800＋税
	冊	
ご担当： 様	発行 Migo migo.jp	○返品条件注文扱い ○返品了解 ツバメ出版流通：川人